

子宮頸がんワクチン接種の一部公費助成を求める請願

【請願趣旨】

昨年12月から日本でも子宮頸がん予防ワクチンの任意接種が開始されましたが、計4万～6万円と高額な費用が普及のネックになっていると言われております。国においても公費負担導入に向けた議論が行なわれているようですが、成案には至っていません。このため、ワクチン接種を希望しているものの助成制度の導入まで接種を見合わせるという「制度待ち」の世帯が数多く存在しております。

他方では、独自に公費助成を始めた地方自治体もあり、本年3月に朝日新聞が行なった調査によると16都道県32市町村が平成22年度から公費助成を実施するとのことです。東京都においては二つの自治体で実施されており、杉並区は中学1年生を対象に全額助成、渋谷区は10～19歳を対象に一部助成が行なわれています。

よって、町田市においても独自の公費助成制度を導入し、なるべく多くの女性が早くワクチン接種を受けられるよう下記の請願をいたします。

【請願項目】

1. 子宮頸がん予防ワクチンの接種に対する一部公費助成を実施すること。